

 ボーイスカウト尾張東地区広報誌	① 17NSJ ② RCJ リクエスト ③ 各団の活動記録		第17号 平成30年10月1日 編集・発行 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者 中村 一徳
--	--	--	---



17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

平成30(2018)年8月4日～10日

石川・珠洲 りふれっしゅ村鉢ヶ崎

◇ 「ジャンボリーに参加して」

春日井第10団 ボーイ隊
わし班 成富 慧也

僕は、春日井十団の代表の一人として、石川県珠洲市で開催された第十七回日本スカウトジャンボリーに参加しました。

ジャンボリーでは、たくさんの思い出があります。

それはいろんな人と名刺交換をしたことです。名刺は、僕が所属していた愛知十隊で配られました。一人五十枚の名刺をもらい、僕

は四十九枚交換しました。日本をはじめ、スコットランドやアメリカ合衆国のロサンゼルス、大韓民国などの国々のスカウトと交換しました。遠く離れたスカウトと、交流できて仲良くなれました。それから、グッズ交換もしました。

愛知十隊のリストバンドが、外国スカウトに好評でした。

ジャンボリー中で、特に設営が辛かったです。初日はとても日差しが強く、作業がはかどりませんでした。しかし、班の人たちと一緒に力を合わせて、最後までやりとげることができ、心強かったし、良かったと思います。

楽しかったジャンボリーが終わる時に、友

達と別れた事は、とてもさみしかったのですが、サインをもらったり住所を教えあったりして、「また、次の大会で絶対に会おうね。」と約束しました。

今回のジャンボリーは、東京であります。その時は、高校三年生のベンチャースカウトに、なっていると思います。三年生で進路のこととか大変だと思いますが、参加したいです。

今回のジャンボリーの七日間は、僕にとって一日に感じられるほど楽しかったです。次のジャンボリーに向けて、これからもスカウト能力を高めようと思います。



◇ 「ジャンボリーに参加して」

春日井第10団 ボーイ隊
わし班次長 谷崎 雄紀

思い出などを描くのもいいがありきたるので得られたモノを書いていこうと思う。

まずは人の温かさである。僕は結構体調をくずして休んでいたのだが、その時、隊長や副長の人、班のみんなの優しい言葉に心打たれた。

次に技術、これはみんなに言えることだが、この六日間を通し、かなり技術が上がったと思う。日付けごとのプログラムを通じ新しい事を知り、知っていることを復習するいい機会であった。

最後に得られたのは、絆、そして経験である。このたすけ、たすけ合いの生活をしてい

るなかで仲間の一面などをもっと深く知れた気がする。僕はこの能登が与えてくれた六日間をけっして忘れないだろう。

皆の努力を、友情を未来につなげるために。次は4年後、舞台は東京、その時は高校3年生。だけど、絶対に行って最後まで楽しみたい。能登の力、未来へ！この言葉を4年後、東京につなげたい。



◇ 「17NSJの思い出」

春日井第10団 ボーイ隊
わし班班長 濱口 豪太

僕はこのキャンプに行くのがとてもいやで行きのバスの中でもまだ憂鬱でした。でも、帰ってきた今は4年後も絶対行く！と思うようになりました。

何が言いたいかというと、人の気持ちを動かすほどこのキャンプは魅力があつてとても楽しかったという事です。6泊7日という長い時間もすぐに感じました。

中でも沢山の友達が出来た事が心に残っています。同じ隊の人はもちろんのこと、他の隊の人や外人スカウトとも交流し、仲良くなれた事がよかったです。行く前は、どうせ辛い事しかないんだろうなあと思っていましたが、そんな事はなく、全日楽しかったです。でもきっと楽しかったのは自分で楽しもうとしたからだと思います。もし、僕のように長期キャンプが憂鬱だと思っている人がいたら、自分で楽しもうとしないと楽しくはないよ。

と言ってあげたいです。



◇ 「初めてのジャンボリー」

春日井第2団 BS 隊
一宮 梓真

私は初めて日本スカウトジャンボリーに行きました。そこで楽しかったのは、開会式、閉会式、大集会の全体の集会と、いろいろな人たちとの交流です。

全体の集会は自分が思っていたよりも盛り上がりました。ジャンボリーのテーマソングをみんなで歌うのはとても楽しかったです。各隊での発表ではその県の祭りの様子が分かりました。

色々な人との交流は私にとってとても貴重な経験でした。日本だと長野や大分北海道で外国だとインドネシアなどの人と話をすることができました。会場全体がいい雰囲気、話しかければだれとでも仲良くなれるという感じでした。初参加のジャンボリーで大変だったこともあったけど、いいこともたくさんありました。また次のジャンボリーにも行きたいです。

◇ 「17NSJに参加して」

春日井第2団 BS 隊
恩田 遼裕

初めてジャンボリーに行きました。初日は、

コンテナから荷物を出す作業が、とても大変でした。

3日目からプログラムが始まりました。とてもたくさんのプログラムがありました。4日目は大集会があり、ガールスカウトとも仲良くなれたのでとても良い思い出になりました。

来年には世界ジャンボリーがあり、僕は派遣隊員として参加するので、日本スカウトジャンボリーの時のように楽しみたいと思います。



◇ 「楽しかったジャンボリー」

春日井第2団 BS 隊
丸谷涼寧

私は今回が初めてのジャンボリーで、今までで一番長い6泊7日のキャンプでした。ジャンボリーに行く前は、とても緊張していてドキドキして、でもワクワクが止まらない！という楽しみな気持ちもありました。

そして、本番当日の1日目と2日目の昼すぎ前までは設営ばかりでつらかったけど2日目の夜の開会式でつかれもすべてとれました。開会式には今回のジャンボリーのテーマソングとイメージソングを歌っている「UNBRANFORD」さんがたくさん盛り上がる曲を歌ってくれました。みんなが跳んではねて

とても楽しかったです。3日目からは、プログラムや会場全体で行われるゲームなどがありました。プログラムの中で私が1番楽しかったのは、レザークラフトです。川にがらを付けて、色を付けた世界に一つだけのチーフリングを作るプログラムでした。自分だけのチーフリングだと思えば、とてもうれしかったです。ゲームは友情ゲームというのをやりました。区画ごとに一文字ずつ文字が配られ、違う文字同士でグループをつかって、ひとつの言葉を作るというゲームです。私はとても早くおわり10分でできました。もっと早い人もいて悔しかったけど楽しいゲームでした。このようなプログラムもありながらも私が一番楽しかったのは大集会や閉会式でした。スカウトの有志の発表や「吉田山田」というユニットや「北陸アイドル部」というアイドルなど、様々な人がステージに立ってくれました。みんなのテンションも↑↑でとても楽しかったです。

人生で一番良い思い出でした！！



◇ 「日本スカウトジャンボリーで」

春日井第2団 BS 隊
吉川 真由

私は今回初めて日本スカウトジャンボリーに参加しました。初めてなのにも関わらず、訓練キャンプにほとんど参加できず、不安を抱えたまま初日を迎えました。しかし、3日目を迎えると班の絆も深まり、同じ班になった韓国の派遣隊のスカウトたちとも仲良くなりました。その後も、大集会やプログラムで

たくさんの友達ができ、いつの間にか不安は消えていました。

最終日の帰り際、「4年後東京で会おう」とすれ違うスカウトたちと約束しました。たくさんのスカウトと交流して本当に楽しかったです。



◇ 「アゲアゲのスカウトジャンボリー」

春日井第2団 BS 隊
青木 絢瑚



私は、17NSJ に行って、改めてボーイスカウ

トの楽しさを実感しました。最初の 2 日間ぐ
らいは早く帰りたいな～。とか、疲れた～。
と感じていましたが、3 日目ぐらいから、他の
県や他の隊の人たちと仲良くなれて、とても
楽しかったです。それに、同じ隊の人たちも
編成隊だったので、仲良くなれてよかったです。

プログラムもいろんな楽しいものがたくさ
んありました。例えばマリン（海）」のサンド
アートや海水浴など、とても混んでいました
が、参加することができたので良かったです。

◇ 「日本スカウトジャンボリーの思い出」

春日井第 2 団 ボーイ隊
中島 みずき



私がジャンボリーに行って楽しかった事は、
プログラムです。

その中で楽しかったのは、マリンのシーカ
ヤックです。木で作って人を乗せて引きずる
だけだけど、空き時間に外国スカウト・北海
道や大分のスカウトと、色々物を交換したり
名刺を交換したりしました。

次に楽しかったのは、閉会式です。ジャン
ボリーが終わるのは寂しいけど、色々な経験
ができたのですごく楽しかったです。

最後に北陸アイドルクラブのライブを見ま

した。ライブ中の後ろにいた男子のノリがち
ょっと怖かったです。

そして打ち上げ花火を最後を満喫し、サイ
トに帰りました

◇ 「17NSJ 売店部に奉仕して」

北名古屋第 1 団
中田洋二

現地入場 8 月 1 日退場は 11 日の 10 泊 1
1 日の野営です。売店部は茨木杉浦部長以下
全国から総勢 60 名、私の役務は生活班長で
主な業務は部員の宿泊・食事・健康・安全・
福利厚生に関してです。

実際には庶務班に属し何でもする方針で作
業しました。プラザ内のスピーカ設置・シャ
ワー設備・熱中症対策のミスト栓・物干場・
青シートでデカフライ等の工作物作成。また、
熱中症対策の二台の冷水器と大型クーラー B
OX と 12 キロの氷は大変助かりました。残
念な事は記念販売品が 6 日にはほぼ売切れて
しまったことです。

一般売店も大人気でゴーゴーカレー・記念
サブレ・かき氷・唐揚げ・スズ焼そば・飲料
等到大勢のスカウトの行列ができました。1
1 日の朝礼で売店部目標予算も達成でき、全
員が感無量で終われました。最後に全国の多
くのスカウターとご縁ができ、大満足でした。



◇ 「17NSJに参加しました」

江南第3団 ローバー隊
常川七海

8/2-11日まで広報部プログラム班としてスカウト通信員のサポート、カメラを貸出したり、スカウト通信員のジャンボリー新聞の記事をサポートしました。

サポートすることによって自分のパソコンやカメラのスキルが上がるのを感じました。広報部にプロのカメラマンがいたので色々教えてもらえて、とても良い経験になりました。



◇ 「17NSJ大会本部の総務部・国際班報告」

江南第3団 日比野良治



秋田の12NJ以来、5大会、20年ぶりのジャンボリー。私は大会本部の総務部・国際班の配属。直接担当した業務としては、外国派遣団バス到着時対応（蛸島デポ出迎え・誘導案内）、大会期間中のトラブル対応、通訳対応でした。一番の印象深かったこととして、い

くつかの外国派遣団が開会式用に準備していたパフォーマンスが事前エントリーされていないことが発覚したため、班をあげてジャンボリースカウトセンターのステージにて、Small World Jamboreeとして提供できたこと。その場にいたみんなが充実した時間を共有。他にもインドネシアVIPに対する開会式への誘導説明、ネパール人ISTを金沢駅まで送り、東京行き新幹線乗車の見届けなど重要任務も体験しました。

◇ 「ジャンボリーを終えて」

小牧第2団 ボーイ隊
林 徹泰

ぼくは日本ジャンボリーを終えて、改めてボーイスカウトの楽しさを知りました。

ジャンボリーでは、他県の人達との交流をたくさんしました。普段関わることのない人と関わる事ができ、交流することの楽しさを知りました。また、班の人達と過ごす時間は、時間に間に合わないときなど、大変なことが多かったけど、一緒に過ごした時間は僕にとって宝物になりました。

これからはジャンボリーで知った「楽しさ」を忘れずに、頑張りたいです。



◇ 「日本ジャンボリー(17NSJ)に参加して」

愛知第10隊 村松 明良
瀬戸第6団ボーイ隊トラ班班長

僕が 17NSJ で一番楽しかったことは、たくさんの人たちとの交流です。

たくさんのスカウトに積極的に声をかけて名刺や県連章等を交換しました。そして自分と同じ趣味を持つスカウトを見つけて盛り上がったたり、地域ごとの方言が面白くて教えてもらったりしました。僕は他に地元のキャラクターのバッチを準備して持っていました。が、予想以上に喜んでもらえました。参加隊は皆面白くて楽しく過ごせました。ハプニングもありましたが協力して乗り越えることができました。とても貴重な体験ができたと思います

第17回日本スカウトジャンボリーの大会運営スタッフとして8月2日～11日まで参加してきました。運営スタッフとして参加するのは初めてでしたが、周りの方々のサポートのおかげで多くの事を学びとても楽しく過ごすことができました。

10日間の中でも、印象に残っているのが、皇太子殿下の交通規制のお仕事です。緊張の中、近くでお目にかかることができ中々できない貴重な経験をすることができたので、是非活動報告と共に後輩スカウトに伝えたいと思います。

◇ 「17NSJに参加して」

愛知第7隊 春日井2団 VS 隊
高井紗璃

ジャンボリーに行く前はボーイの子達のフォローが出来るか不安でした。しかし実際に行ってみるとそんなこと忘れるくらい楽しいことがたくさんありました。私たち愛知7隊はロサンゼルススカウト2名を含めとても絆が強いと思います。今後全員でキャンプすることはないかもしれないけど、思い出を忘れずにこれからも活動していきたいです。

◇ 「第17回日本スカウトジャンボリー感想」

春日井第4団 ローバー隊
金村 莉歩



◇ 「初めての班長」

春日井第4団
田中 初音

ジャンボリー初日はてんやわんやでドタバタ。班員に指示が思うように届かず悩み、他の班長に相談してアドバイスをもらったりして過ごしました。日時を経るごとに「自分の伝えたいことがどうすれば班員に届くか？」がわかってきました。

「あ！私ってこんなに人と話せてたな！？」と自分でも思うほどになりました。

最終日、なんと！「トラ班」が「優秀班」に！トラ班の仲間達、本当にありがとう！皆の協力、支えがあってこそその結果です。そして私が「最優秀スカウト」に！何故私が最優秀スカウトになれたか。それは一緒に考え協力してくれた仲間達のおかげです。



今回の経験を通し、皆の優しさ、大切さが心に 17NSJ 事前キャンプ初日、私が班長として名前が挙げられました。これまでのボーイスカウト活動の中で班長経験もなく予想外の決定でした。

私はコミュニケーションをとること、人前に出ること、リーダーシップをとることが苦手です。こんな私に 17NSJ の愛知 9 隊 トラ班（春日井+日進）班長が勤まるのだろうかという不安を抱えながら当日を迎えました。もちろん楽しみも抱えて！響きました。とても感謝しています。予想外の決定がこんなに大きな経験になるとは. . . 。

次回は東京で会おうぜ！！（今自信に満ちあふれているナウ）

◇ 「今回のジャンボリー」

17NSJ 愛知 8 隊
隊長 大島 佑哉

あるスカウトがベンチャーになったらボーイスカウトをやめようと思っていた様子。ただ、17NSJに参加して、気持ちが変わったようで、ジャンボリーからの帰路、バスを降りて一言。「隊長！ベンチャーも続けます！」

ジャンボリーではスカウトが楽しめるように副長に支えられ、色々と考えることができました。副長にはとても感謝をしております。いろいろとあった中で今回一番印象に残ったのが上記の言葉でした。

次回の日本スカウトジャンボリーは東京。もし、また参加隊で行けたときには、新しいスカウトと新しい出会いをし、新しい出来事に会っていきたいと思います。



◇ 「ジャンボリー」

17NSJ 愛知 9 隊
隊長 佐藤 精

今回のジャンボリーでは①安全に帰ってくこと、②楽しいジャンボリーにすること、③ちょっと背伸びをしてもらうこと、④でき

るだけ準備をして臨むこと、を特に意識して隊運営を行いました。

- ① については、一人熱中症にしてしまったのは申し訳なかったと反省してますが、みんな、自分の体調管理に真剣に向き合ってよい経験になったことと思います。
- ② これは間違いなく達成できたなと思います。最後へろへろになったスカウトもいましたが（ちゃんと見てたぞ）、価値ある経験になったのではないかと思います。
- ③ 班長・次長には、普段やっていないスカウトたちに任せてみました。みんな、一人残らず期待に応えてくれました。めきめき成長している姿を目の当たりにして、指導者冥利に尽きました。
- ④ 事前の準備で力が入ったのが、写真のゲートです。「城を作りたい」とか言い出した時はどうなることかと思いましたが、ごらんのとおり、たいへん良い出来でした。通りを行きかう人が立ち止まって見上げていくのを見て、とても誇らしい気持ちになりました。

派遣隊のみんな、支えてくれたスタッフの皆様、そして送り出してくれた皆様、本当にありがとうございました。



◇ 「17NSJ を終えて」

17NSJ 愛知 7 隊

隊長 （江南 1 団 VS 隊長）石川圭祐

「ありがとうございました、とても楽しかったようです。」という声を何件いただいたであろうか。スカウトの保護者から、この声を聞くたびに、自分の進んだ道は間違っていなかったのかなと感じる。ほとんどのスカウトが

出席した解散式で、別れを名残惜しそうにしている姿を見ると、隊や班が深い絆で結ばれていると感じる。この 17NSJ で多くの仲間と結ばれることができた。この仲間とともに今後 VS へと上進し、ボーイスカウト活動を盛り上げてくれることを期待する。多くの関係者の皆様ありがとうございました。

◇ 「ジャンボリー」

17NSJ 愛知 10 隊

隊長 （小牧第 1 団）古木 啓介



10 隊は 8 月 4 日に愛知環状鉄道・中水野駅から出発。隊長から「自分だけが楽しみに行くんじゃない。代表として派遣される意識をしっかりとって、みんなの期待を背負って何事にも全力で取り組もう」と話をし、みんながそのように、このジャンボリーをしっかりと楽しんでくれたことがとても良かったです。いつも陽気なベンチャースカウト、班員の扱いに悩む班長、班長の扱いに悩む次長、「吉田山田」が来て見たことないテンションになる副長…みんなの個性が 10 隊のよい雰囲気を作ってくれました。

また、10 隊のオリジナルグッズ「リストバンド」を、日本のどこまで、世界のどこまで配れるかという隊のプログラムをやり、全員が 50 枚の名刺と 5 個のリストバンドを持って、知らない「仲間」と出会い、友情を交歓してくれました。国内では九州や北海道や海外は香港・韓国・アメリカ…と遠くの地域・国まで交流を持っていました。

私にとってジャンボリーは、人生が変わった場所でした。スカウトのみんなにもそんな大会になって欲しいと思って、副長たちの協力も得ながら隊運営を行いました。この 10 隊が参加したスカウトみんなにとって価値ある 1 週間になっていれればいいです。

また、個人的には、2年前、2TCで全体行事を担当していた時のローバースカウト達が、参加隊の副長や、サブキャンプのスタッフ、ジャンボリーの開・閉会式スタッフなど、様々なポジションで主要な役割を果たしてくれていたのがとてもうれしかったです。

さぁ次は東京！10隊のみんなには次の参加スカウト達を導いてくれることを期待しています。



17NSJ尾張東地区諸活動あれこれ

第17回日本スカウトジャンボリー実行委員会

4年に一度開催される日本スカウトジャンボリーの第17回大会が、8月4日（土）～9日（金）石川県珠洲市にて国内外から約13,000人の参加者を得て開催されました。尾張東地区より参加4個隊関係164名、本部・サブキャンプ奉仕関係37名、計201名が参加、参加者それぞれの目標や大会成功に向けた裏方役務遂行などに取り組み、各自の目標を達成し盛況のうちに帰ってくることが出来ました。保護者の方、団の皆さまその他関係者各位のご尽力の賜物と感謝申し上げます。大会参加に向けた地区内活動の一部を報告します。

◆派遣隊活動（4個隊編成）◆

4月・参加確定申込と派遣隊編成を確定し、各隊毎の結隊식을5月のゴールデンウィーク期間を挟み実施し、おおよそ月1回の編成隊訓練を行いました。

編成隊は、数個団の混成隊で編成したのでスカウト間の友好を深める事を第一にし、宿泊を伴うキャンプや班長訓練の充実を図り、短期間でスカウト間のコミュニケーション向

上が図れ、大会へ臨むことが出来ました。また、ベンチャースカウトを各隊へバラバラに配属し、ボーイスカウトの良き相談相手としてお兄さんお姉さんの役割を果たしてくれたことが、より一層良かったのでは？と感じています。

◆7月22日 派遣隊壮行会◆

犬山国際観光センター「フロイデ」ホールにおいて、参加スカウトや指導者、スカウト保護者、各団関係者約460名の参加をいただき開催しました。

平野地区委員長の激励の言葉、参加スカウトによる決意表明等のほか、県連盟副派遣団長から派遣団チーフの授与を各隊上級班長が受けました。ローバースカウトの軽やかな司会進行で、楽しく盛大・和やかに実施できました。

壮行会時には、7月上旬の発生した「西日本豪雨災害支援募金」を実施させていただき64,088円のご芳志をいただきました。誠にありがとうございました。ご芳志金はボーイスカウト日本連盟へ納付させて頂きました。





「西日本豪雨災害支援募金」の様子

◆所属自治体市長表敬訪問◆

日進市



犬山市



瀬戸市



江南市



大会参加スカウト・指導者、団関係者による所属自治体市長表敬訪問を実施し、大会開催の目的や参加目標等、スカウト活動の一端を報告とPRを実施し、各市長さんより激励と今後のおおいなる活躍を期待する激励をいただきました。

訪問自治体は次の通り(参加団名)

7月27日：日進市(日進第1団・第2団)

犬山市(犬山第5団・第7団)

7月30日：瀬戸市(瀬戸第1団・第6団)

8月29日：江南市(江南第1団・第3団)

8月31日：犬山市(犬山第5団・第7団)

◆派遣隊資器材輸送◆

7月22日、資機材積み込み

8月25日、資機材帰着

派遣隊が大会期間中に使用する資機材をJRコンテナでの輸送を行いました。



積み込み・積み下ろしは各団指導者のご協力いただき、暑い中での作業となりました。ご協力いただきました各団関係者の皆様に感謝申し上げます。

第7.8隊積み込み

第9.10隊積み込み

◆実行委員会として◆

平成29年9月、地区内に実行委員会を立ち上げ、参加受付仮申込から確定申込、派遣隊編成計画や個別訓練への支援等、参加するスカウトや指導者がスムーズに課活動できるよう実行委員会や派遣隊長会議を開催し、運営状況を地区委員会経由で各団へ報告致しましたが一部ご迷惑をお掛けした点もありましたが、大会参加者が無事帰着出来ましたこと、安堵と関係各位に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

次のジャンボリーは、ボーイスカウト日本連盟100周年記念の年・2022年「TOKYO」です。

参加候補スカウトは、現在のカブスカウト(小学校2年)からボーイスカウト(中学校2年生)までです！皆さん、今から「そなえ！そして、いざ東京へ行こう」

チャレンジサブキャンプ副チーフとして

小牧第2団 団委員長
井上 勲

第17回NSJにおいて、中部9県連盟のチャレンジSCの副チーフとして庶務班、プログラム班を担当しました。今回の当SCの組織は、各県連が1つの班を担当する体制で、愛知連盟は、庶務班を担当し、班員総勢36名のうち当地区からは20名の方に奉仕して頂きました。連日猛暑の中、他県連の奉仕者が少ないこともあり、他県連の担当業務に対しても気持ちよく対応して頂いたことに感謝いたします。なお、今回の大会では、「セーフ・フロム・ハーム」の取組が徹底されており、団や地区においても再度、徹底する必要があると痛感しました。最後に、「3TC」「第18回NSJ」においても、多くの指導者が参加されることを期待します。

◇ 「17NSJに参加して」

日進第1団 ボーイ隊
副長 安田 直樹

今回私は、17NSJに派遣隊（愛知第9隊）副長として参加してきました。派遣隊は、7～8名の班が4つ、VS班も含めて36名のスカウトで編成され、自隊のスカウトも、そして私自身も、この規模の隊で活動するのは初めての経験でした。

果たしてスカウトたちは、班の仲間との協力、班同士の競い合いなど、大きな隊ならではの楽しみを感じていたようで、非常に充実した一週間を過ごすことが出来たと思います。

17NSJを終え、自隊においてカブ隊、ビーバー隊のスカウトたちが「早く自分もボーイ隊に行きたい！」と思えるような活動を展開し、大きな隊の楽しさを自隊で味わえるような、そんな隊を目指していきたいと感じている昨今です。

◇ 第17回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）

北名古屋第1団 平野嘉彦

2018年8月4日～10日、石川県珠洲市蛸島町鉢ヶ崎で、海外12の国と地域（オーストラリア、台湾、香港、インド、インドネシア、韓国、マカオ、マレーシア、ネパール、フィリピン、アメリカ、イギリス）の約600名を含む参加者13,422人が集い開催されました。チャレンジサブキャンプエリア（スカウトの宿営場所）で、サブキャンプチーフ（永井愛知連盟理事長）のもとサブキャンプ（SC）の庶務業務運営を担当し参加スカウト達が快適にジャンボリー生活を行えるように奉仕をしました。多数の奉仕者皆様のお力で事故無く運営出来ましたこと紙面に於て先ずもって御礼申しあげます。

スカウト時代、第4回日本ジャンボリー（岡山県日本原）参加以来、66歳になった今でもジャンボリーと聞くと心が躍り楽しみになります。それほど楽しく仲間達と過ごせる大会です。

参加スカウトが、ジャンボリー楽しかったと言ってくれることが嬉しいですね。参加したことで内外に目を向け多くの仲間達と活動出来る喜びを感じて日常の活動に邁進してくれることを願っています。ジャンボリーは、国内だけでなく、世界スカウトジャンボリー（WSJ）も開催されています。24WSJは、2019年米国ウエストバージニア州で開催されます、17NSJに参加し、WSJに参加を決めたスカウトもいます、ジャンボリーは楽しい事が満杯です、是非機会がありましたら参加してください。

皆さんもご存じと思うのですが、ジャンボリーとは、スカウト運動創始者ベーデン・パウエル卿がスワヒリ語のJamboを元に造語し、多くのスカウトが参加する大会を総称した言葉です。

最近では、スカウト行事以外でも多人数が集う音楽などの祭典などで、この名称が使用されています、この言葉は、ボーイスカウト活動が起源と言うことを知っていただきたいと思います。

日本スカウトジャンボリーは4年ごとに開催され、今回で第17回を迎えました、次回4年後は、東京での開催が決定しています。今までと違う都市型のジャンボリーとなる予定です。

その年には70歳になります、参加できるかどうか解りませんが今から楽しみにしています。

弥栄

◇ 「RCJ リクエスト」

春日井第5団 ローバー隊
中神 大輔

8月23日(木)～26日(日)まで、RCJリクエストが、大和の森 高萩スカウトフィールド(茨木県)にて開催されました。

北海道から沖縄まで、全13班。ローバースカウトが全国から集まりました。

初めて会う仲間との班ですが、すぐに仲良くなり、楽しく野営生活を送ることができました。マウンテンバイクでのプログラムは、下りはすごくスピードが出て楽しかったのですが、もちろん帰りはキャンプ地に向かって登りで、すごく大変でした。途中カフェで、休憩し地元の方と楽しくお話ししました。

他にもプログラムは楽しかったのですが、いろいろな地域の方と知り合えたのが一番です。ローバー1年目のスカウトだけで集合写真もとりました。また、再開楽しみです。

ローバーになると、活動の幅が広がります。自団の活動だけでなく地区の活動にも積極的に参加したいです。これを読んでいるカブやボーイのスカウトのみんなも、ローバーに上がってきて楽しもう。



◇ 「いきものかんさつしたよ！」

瀬戸第6団 ビーバー隊
隊長 野村勝美

7月8日の隊集会は尾張旭第1団さんと合同で生き物観察をしました。当初は川に入る予定でしたが、前日迄の雨で川の水量が少し多めだったので岸からの観察になりました。それでもみんな楽しそうに川の中にタモを入れてメダカ等をすくっていました。

初対面の子どもたちもすぐになかよく元気に楽しく過ごすことができました。



◇ 「きもだめし」

江南第3団 カブ隊
かねまつ さやえ

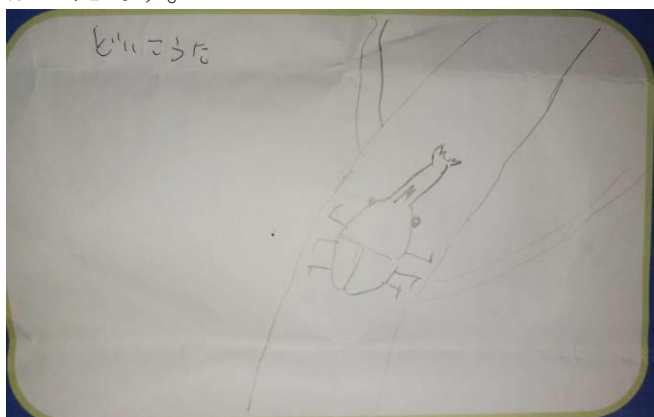
きもだめしをしました。とてもおばけがこわかったので泣いてしまいました。でもまさながいたので光るわをひろうことが出来ました。終わってからボーイの人に海のぬいぐるみをもらいました。うれしかったです。



◇ 「こんちゅうさいしゅう」

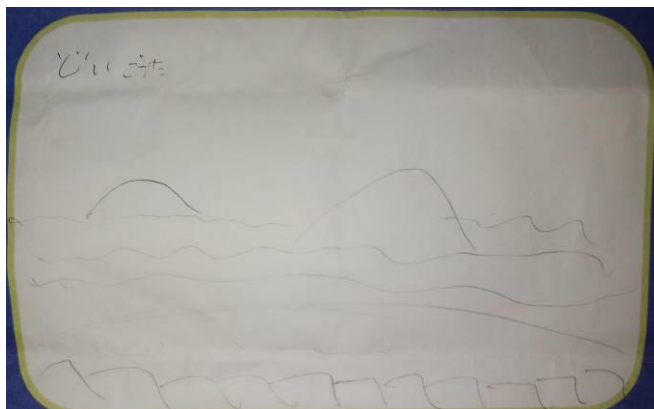
江南第3団 カブ隊
どい こうた

ぼくはあさにこんちゅうさいしゅうにいきましたカブトムシのオスメスをつかまえてよかったです。



◇ 「さわさがにとり」

江南第3団 カブ隊
どい こうた



ぼくたちは川でかにをさがしてあそんでいました。かにをさがすのはむずかしかったです。

◇ 「たきまでのハイキング」

江南第3団 カブ隊
ふじのまさと

ぼくはキャンプの二日目にたきまでハイキングに行きました。作ってもらった記号をたどってすすんで行きました。一歩外したら落ちるけわしいさを上がったたり、何回もはしをわたったりして歩きました。上流に行けば行くほど水がきれいで、魚がたくさん泳いでいました。たきに着いた時は、とてもとてもうれしかったです。なぜかという、スタート地点から、たきまですごく遠かったからです。たきには、三人のかみさまのぞうがおいでありました。ぼうをもったり、みんなを見まもったりしていましたが、たきの水はすごくつめたかったけど、だんだんなれて、ついにもぐれるようになりました。しばらく遊んでいて、とても気持ちよかったです。帰り道は、よそう外に楽でした。下りざかだったからです。つかれたけどとても楽しいハイキングでした。

◇ 「ボーイスカウトのぼうさいくんれん」

江南第3団 カブ隊
ふじのまさと

ぼくは、ボーイスカウトで、ぼうさいについて学びました。

まずはじめに、み近にある新聞紙で、スリッパを作りました。新聞紙で、大きさをちょうせつできるし、み近にあるもので、やくに立つものができるなんてすごいなと思いました。

つぎに作ったのは牛にゅうパックのフエです。前作ったことがあるけど、今日のはいつものばいたいへんでした。なぜかという、いつもは、じゅんびする人が、かいてから、きってわたしてくれるのですが、今日は、か

くのときものつくみたてるということを、しなくてはならなかったからです。くろうしたけれど、いい音になってうれしかったです。

そのつぎにやったのは、手づくりきゅうじょというボーイスカウトのお兄さんとお姉さんがつくってくれたきかいにのりました。上にあがったり下に下がったりできるのです。そして上にあがったら、デンリーダーに写真をとってもらいました。とても楽しかったです。

つぎにおうきゅうしょちのしかたを教えてくださいました。一人がねころんでやったり人形をおしたりしました。むずかしかったです。

さいごにマスクをつくりました。かんたんそうに見えたけど、とてもむずかしかったです。

とても楽しくむずかしいカブスカウトでした。

◇ 「きもだめし」

江南第3団 カブ隊
かねまつ さやえ



今日は夏まつりでした。
みんなでやしそばやフランクフルトを食べました。よるにはみんなで花火をしました。
夏休みの楽しい思い出になりました。

◇ 「楽しかったきもだめし」

江南第3団 カブ隊
ふじのまさと

ぼくはキャンプの二日目にたきまでハイキングに行きました。作ってもらった記号をたどってすすんで行きました。一歩外したら落ちるけわしいさかを上がったり、何回もはしをわたったりして歩きました。上流に行けば行くほど水がきれいで、魚がたくさん泳いでいました。たきに着いた時は、とてもとてもうれしかったです。なぜかという、スタート地点から、たきまですごく遠かったからです。たきには、三人のかみさまのぞうがおいでありました。ぼうをもったり、みんなを見まもったりしていましたが、たきの水はすごくつめたかったけど、だんだんなれて、ついにもぐれるようになりました。しばらく遊んでいて、とても気持ちよかったです。帰り道は、よそう外に楽でした。下りざかだったからです。つかれたけどとても楽しいハイキングでした。



◇ 「昆ちゅうさいしゅう」

江南第3団 カブ隊
かねまつ さやえ

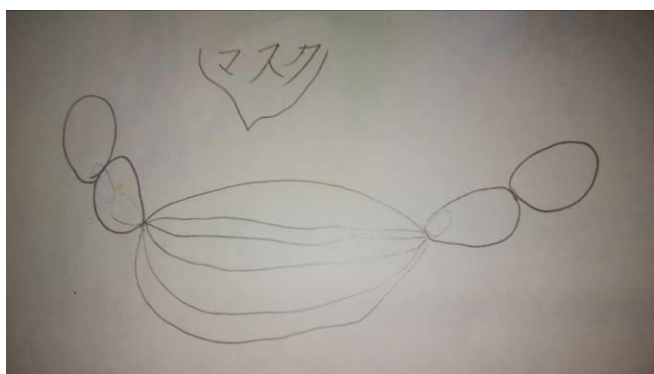
昆ちゅうさいしゅうしました。
カブトやクワガタをつかまえられるのはちょこ

っと時間だったけどたのしかったです。



◇ 「9/2 ぼうさいきやらぼん」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那



まず、イオンにいきました。
さいしょに、マスクをつくりました。
つぎにスリッパをつくりました。小さかったです。
さいごにふえをつくりました。いいおとがします。

◇ 「ボーサイフォーランドをしたよ」

江南第3団 ビーバー隊
くまさき こう

ぼくはビーバーでボーサイフォーランドをし

ました。ぼうさいでつかうどうぐにのせてもらったりしました。ぎゅうにゅうパックでつくったふえ、しんぶんしでつくったスリッパなどをつくりました。つぎにどっちビーのれんしゅうをしました。どちらがかつかのしみです。



◇ 「大きなかぶのれんしゅうをしたよ」

江南第3団 ビーバー隊
くまさき こう

ぼくはビーバーで大きなかぶのれんしゅうをしました。あどばいすをもらってもっとこえをだしたらいいなと思いました。



◇ 「しょうぼうしょのけんがく」

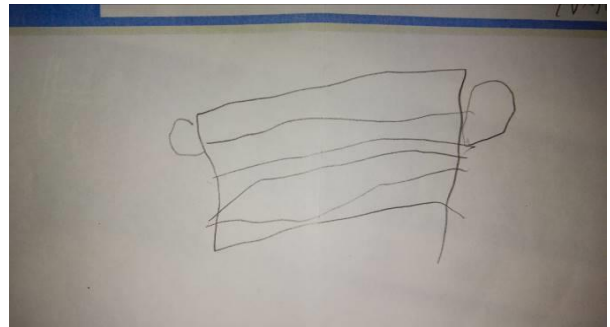
江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那

しょうぼうしょのけんがくに行きました。あるいて行きました。はしごしゃにカブだけのれてずるいです。

江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

しょうぼうしょのおおきなふくをきれておもしろかった。

江南第3団 ビーバー隊
いそむら かずと



◇ 「みどりのはねぼきん」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那

きのうまんだらじにあるいていってみどりの
はねぼきんをしました。ふじの花を見ました、
けど花は、ほとんどかかれていました。

江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

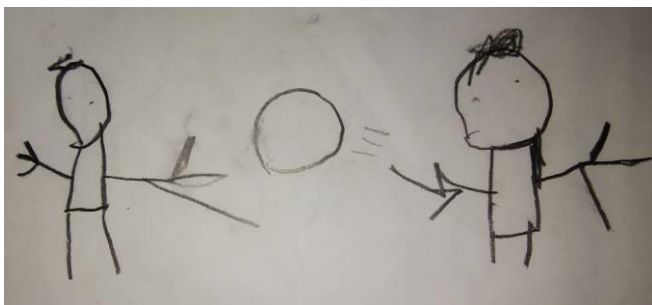
おおきなこえでぼきんをしました。たのしか
った。

江南第3団 ビーバー隊
くまさき こう

ぼくはまえビーバーで、みどりのはねきょう
どうぼきんをしました。人はぜんぜんいなか
ったけどおもっていたいじょうにくれたので、
うれしかったです。

◇ 「9/2 どっちビー」

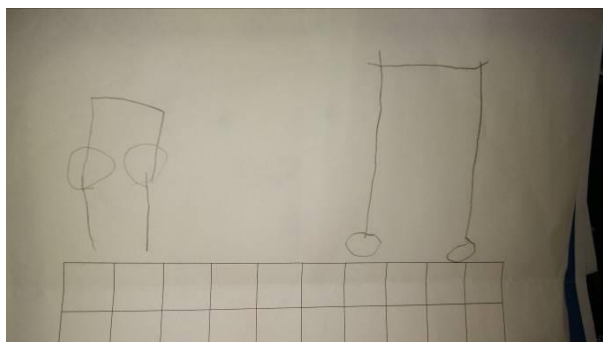
江南第3団 ビーバー隊
やまぎし あゆむ



◇ 「ぶらんこ」

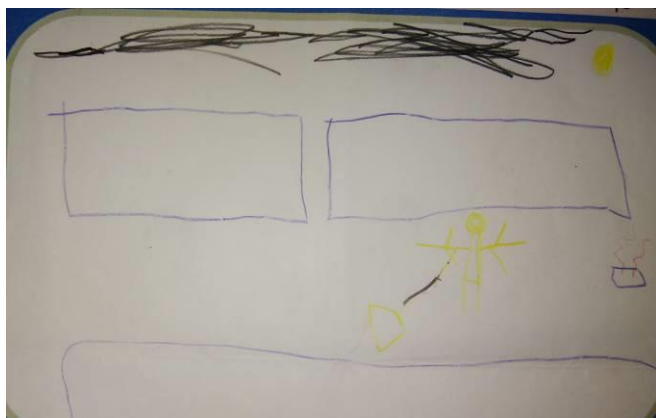
江南第3団 ビーバー隊
いそむら かずと

江南第3団 ビーバー隊
いそむら かずと



◇ 「はなび」

江南第3団 ビーバー隊
やまぎし あゆむ



江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

はなびたのしかった。

◇ 「はしご車のうごくところを見たよ」

江南第3団 ビーバー隊
くまさき こう



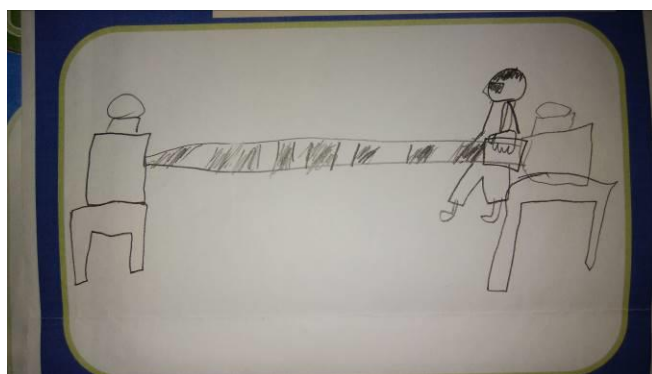
ぼくはビーバーではしご車やきゅうきゅうし

ややたんくしゃを見ました。うごくのりものははしご車しか見れなかったのではしご車をかきました。ことしはビーバーじゃなくて○○たのでつぎのりたいです。

◇ 「たのしかったげんきっず」

江南第3団 ビーバー隊
くまさき こう

ぼくは、ビーバーでげんきっずをしました。10このところをぜんぶやったらうけつけでいろいろなものがもらえてうれしかったです。またつぎもがんばりたいとおもいます。

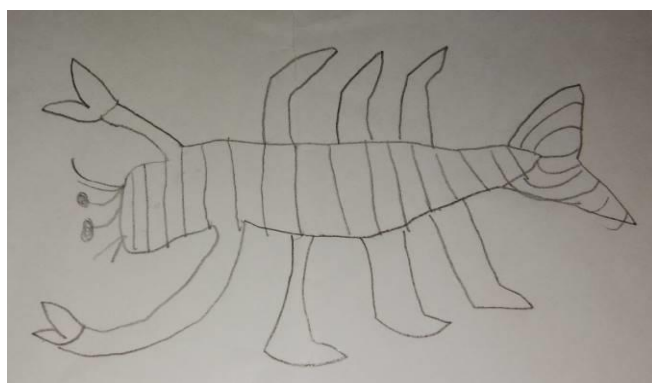


江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

かわいいようせいをもらえたからうれしかった。

◇ 「ざりがにつり」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那

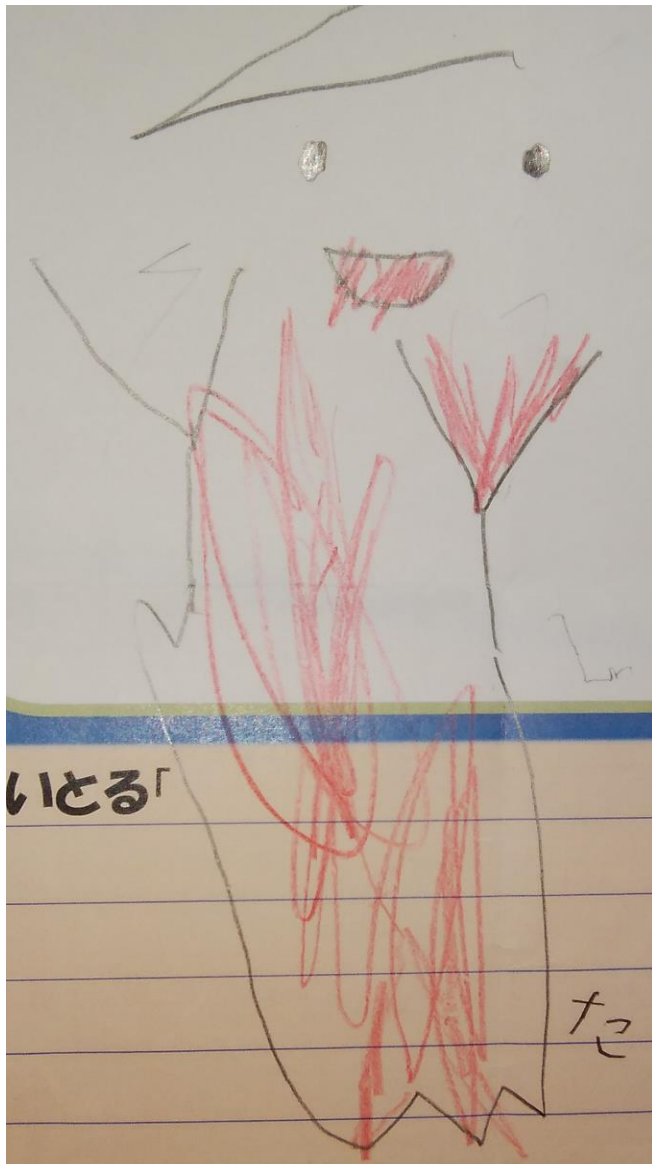


7月22日にざりがにをつりをしました。つりざおにするめいかをつけてつりました。いっぱいつりました。かえるもありました。さいごにざりがにをもってしゃしんをとるときにパパがここをもてばいいっていったところをもったのにざりがににはさみではさまれました。いたかったです。

江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

いちばんおおきなざりがにをつれてうれしかった。

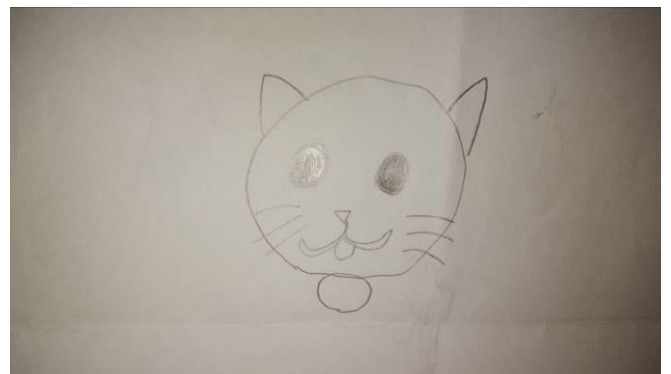
江南第3団 ビーバー隊
やまぎし あゆむ



◇ 「キャンプ」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那

ぎふせいりゅう公園でパンをつくりました。せんべいもつくりました。キャンプじょうでパンをたべました。川あそびをしました。楽しかった。キャンプファイヤーで大きなかぶをやりました。きれいなまんげきょうをつくりました。かぶと虫をつかまえました。



江南第3団 ビーバー隊
どい はるま

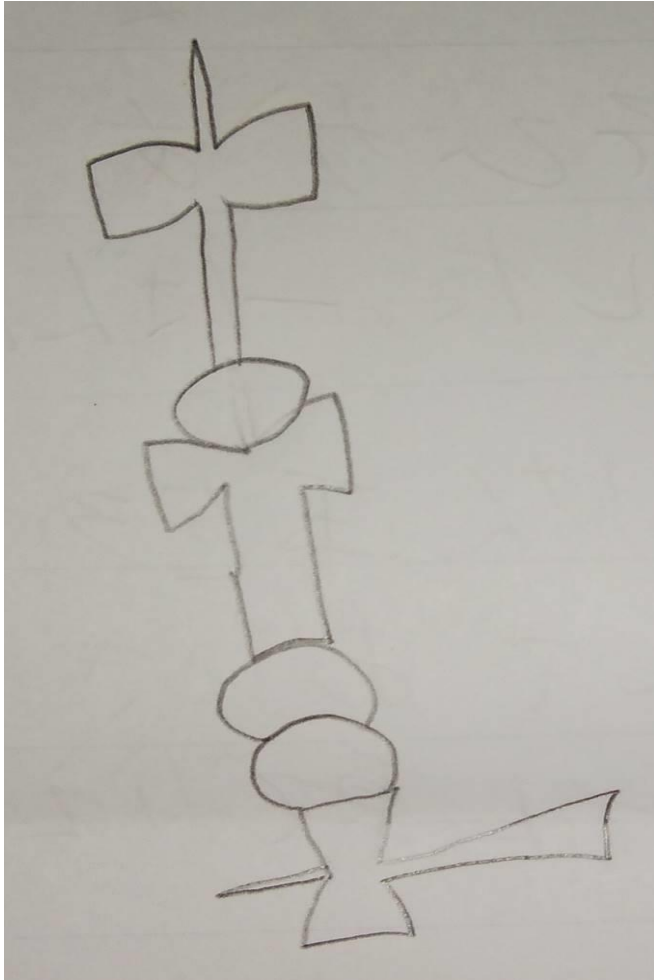
かにがいっぱいいた。いっぱいつかまえてうれしかった。

◇ 「おでかけビーバー」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那

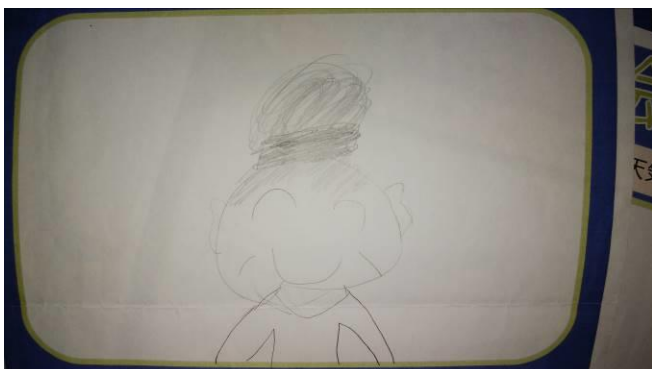
きのうでん車とバスにちょっととおくまでおでかけに行きました。EXPO2018に行きました。でん車のえきに歩いて行きました。でん車の中でおり紙をしていました。おり紙でおりづるとしゅりけんを作りました。1回犬山ででん車をのりかえました。でん車からおりて少し歩いてバスのりばに行きました。バスのりばで少しバスがくるまでまちました。バスにのるときに整理券をとりました。それをとらないとどこからのったかわからなくなるからです。バスからおりてすこし歩いてつきました。ついて一ばんさいしょにかぶとを

きました。むかしのあそびがあったのでいろいろなあそびをしました。一ばんたのしかったのは、けん玉つみです。けん玉を3つつみました。それからおひるごはんでおにぎりをたべました。かえりもバスとでん車でかえりました。



◇ 「おめん」

江南第3団 ビーバー隊
磯村 真沙那



きのう、おおきなかぶのおめんをつくりました。おばあさんやくになりました。おめんの絵はおばあさんのおめんです。絵をかくのがものすごくむずかしかったです。おおきなかぶのれんしゅうをしました。

◇ 「キャンプ」

春日井第5団 カブ隊
はしもと まな

1日目は歩いてばかりで足がつかれました。夕食のカレーは、おかわりしてきもちわるくなりました。竹とんぼはうまく作れないので、しょう子ちゃんのパパに手伝ってもらいました。キャンプファイヤーは、はずかしくセリフが言えませんでした。

2日目は、おきたら、ノブ君としょう子ちゃんがまだねていたので、自分もねてしまいました。ラジオ体そうはちょっとねむかったです。その後はハイキングをしました。途中でごへいもちを食べておいしかったです。できたてほやほやだったので、あったかかったです。「半分青い」の出てくる人のサインが書いてありました。ちょう上は高かったです。弓矢を作りました、でも弓を引きすぎなのかとびませんでした。かせきほりは10分といわれたので「ええ！そんなに早いの」と思いました。かみなりがなったときはこわかったです。



春日井第5団 カブ隊
はたの しょう子

私の今日までのうれしかったできごとは、竹とんぼ作りです。竹とんぼをつくる時いっぱいがんばれたからです。

ほかは、岩村じょうに登ったときです。どうしてかという、山は天気がよくかわるのでちょっと雨がふって、足がいたくなってつらかったけど、がんばってのぼったらいいけしきがみえました。真下をみたらがけになっていて、ちょっとこわかったけど下りてみました。そしたら小さいバッタがいっぱいいました、かわいかったです。つかまえてみたら、手の中でぴょんぴょんはねて、くすぐったかったです。上った時の時間は長いけど、下った時の時間は短かったです。その時たべたおにぎりはおいしかったです。トイレにいったときにかねをならしました。すごく大きな音でした。

夜になって外に出たら、いっぱい星がありきれいだったです。昼ごはんにたべたカレーはおいしかったけど少しあつかったです。キャンプファイヤーのスタンプで、森は生きているというお話の中の一部をはっぴょうしました。ほかのだんのいちのみや13だんの人もいたから、少しきんちょうしました。でもがんばったらできました。これからもゆうきをだして、いきいきとしてがんばりたいです。



春日井第5団 カブ隊
くま 平田 陽太郎

今日、ぼくが一番心に残ったことは弓作りです。①竹に切り込みを入れる②糸をこよったものを切り込みにつける③完成。竹とんぼよりも作るのはかんたんだったのですが、的を撃ち抜くのがとてもむづかしかったです。

でも3回程撃ち抜くことが出来たので良かったです。

二つ目はおいしいごへいもちを食べれたことです。その店には、有名な人のサインがいっぱいあったので、「この店はとても有名なんだなー」と思いました。

三つ目はキャンプファイヤーを一宮13団とすることが出来たことです。久しぶりに他の団とふれ合う事が出来たので良かったです。

四つ目は化石掘りのことです。いろいろなものが出てきそうなので、家でも続きをやりたいです。



春日井第5団 カブ隊
くま 原田 信繁

化石ほりや、弓矢作りや、岩村城に登ったりして大変だったけど、楽しかったので来年もここのキャンプ場にしたいです。



◇ 「たのしかったみずあそび」

春日井第5団 ビーバー隊
宮地 あかり



みずあそびはたのしかった。
みずてっぽうのみずがおちてきてきもちよかったです。さいご いっかいうえにあがったにずがプールのなかにもどった、みずのおとが
いいおとだったです。

◇ 「ビーバー隊全員集合」

春日井第5団 ビーバー隊長
中神 雅子

8月11・12日の一泊にて、団キャンプに参加しました。

キャンプ場内を散策し、葉っぱを写しみんな
で一つの作品を仕上げました。春日井5団
ビーバー隊全員集合！



◇ 「デイキャンプ」

春日井第5団 ボーイ隊
大上 陽斗

僕は6月3日に、春日井少年自然の家でガ
ールスカウト愛知40団さんと合同でデイキャ
ンプをしました

僕たちは、ビーバースカウトやカブスカウ
トに遊んでもらうために、モンキーブリッジ
やブランコ、メリーゴーランドを木とロープ
だけで作りました。その中でとても大変だっ
たのは、メリーゴーランドです。なぜかとい
うと、使っていくたびにロープが下がってく
るからです。

様々な苦労があったけど、ビーバーやカブ
の子たちに喜んでもらったのでよかったです。



◇ 「せとものパレードのこと」

瀬戸第1団カブ隊
うさぎ ^{かとう}加藤 ^{はるき}陽生

ぼくは、せとものパレードにでて、3年目で
すが、カブでやるのは、はじめてなので小だ
いこをやると、ピアノカよりつかれました。
ともだちや、みんながきてくれてとてもうれ
しかったです。

商てんがいや、橋をわたって、みんなに聞
いてもらってうれしかったです。おきやくさ
んや、ぼくたちのちかくにいる人を心の中で

すごいなあと思ってもらえたことがとてもうれしかったです。

みんなで合しようするときれいな音になるから音楽がとても楽しくなりました。



◇ 「がんばったたいこ」

瀬戸第1団カブ隊
うさぎ ^{なぐも} 南雲 ^{ひろと} 大翔

ぼくは、たいこをいっぱいたたきました。とてもたのしかったです。いっぱいあるいたけどさいごにごほうびをかってもらってうれしかったです。たいこをたたいているときに、学校の友だちがいました。3人しかいないけどうれしかったです。だけど学校の友だち、ただけでなく、ほいくえんの時にいっしょにいた友だちもいました。



ごほうびをかったあとに、きずいてくれました。ひさしぶりに、ひさしぶりに、こえをかけてくれましたとてもうれしかったです。ぼくもいつか友だちにあったらこえをかけてみたいです。でも、そのほいくえんの時の友だちが3人いました。だからいっぱいこえを

かけてくれました。けどおもったよりともだちがいっぱいてくれてうれしかったです。あしたのせとものまつりでぼくのクラスのせんせいがくるらしいです。あとぼくのおなじクラスの女の子がおどるらしいです。あしたのせとものまつりも晴れれば、たのしいと思います。ぼくもまつりをみにいきたいです。

◇ 「せともの祭パレード」

瀬戸第1団カブ隊
うさぎ ^{ふじた} 藤田 ^{りく} 劉空

ぼくは、九月八日のボーイスカウトでこてきをしました。カブになってはじめてのこてきになりました。さいしょのれんしゅうでがっきをきめるとき、ぼくはかるそうながっきがよかったので、小だいこにしてみました。つぎのれん習のとき、ぜんぜんわかんなかったので家でれん習をしてだいたいわかるようになりました。どんだんれん習をしてがくふを見ないでできるようになりました。さいごのれん習のときこれでうまくたたけるか心配でした。



九月八日になってぼくは、きんちょうしました。ほんばんをやったさいしょは、うまういったと思ったらとちゅうからバラバラになってぼくは、バラバラにしないようにがんばったけどムリでだんだん心配になってきました。でもさいごの方でまただんだんそろってきたので、うれしかったです。

さいごは、きれいにおわったのでよかったです。たのしかったけどかたと手がいたいのでそこは、ざんねんでした。らいねんは、もっともっとうまくなりたいです。

◇ 「せともの祭パレード」

瀬戸第1団カブ隊
うさぎ ^{やまぐち} 山口 ^{れお} 怜士

「タン、タン、タン、タン」ぼくにとって初めてのこてきの練習が始まった。ぼくがたんとする楽っきは小だいこです。たいこの役割は音楽のリズムです。みんなとあわせてリズムを一定にたたき続けることは、ぼくにとってとてもむづかしかったです。

でも、ピアノカや大だいこなど、ほかの楽っきとそろろとアトム曲がとてもかっこよく聞こえました。

本番、いよいよ練習のせいかをひろーする時です。ぼくはとてもきんちょうしました。小だいこがかたにもギョとくいこんできて足もどんどんつかれてきてくるようになってきました。だけど、こてきを見に来てくれた友だちやおきゃくさんが手をたたいてよろこんでくれました。だからぼくはつらい気持ちがふきとんで楽しい気持ちになってえんそうできました。練習して本番とてもうまくできてさい高にうまくできたのでとても楽しかったです。またらい年たのしみです。

◇ 「せともの祭パレード」

瀬戸第1団カブ隊
しか ^{おかだ} 岡田 ^{りくと} 陸杜

ぼくは練習で7時～8時30分まで夜に練習をしていました。さいしょの練習の時はできるかなと思っていやっていたけど、けっこうやっていたら、去年もやっているし、もうこつをつかんだからいけるようなかんじがしてやっていたらもういつのまにか目をつぶっていてもできるようになっていて、そのころはとてもかんたんのようにかんじながら練習

をつづけていました。そして、いつのまにか歩いてできるようになっていました。

そのころは、えんりょうしてできたので、とてもあんしんしてたいこをたたけていました。そして、ほんばんのせともの祭でやる時は、練習の時はぜんぜんきんちょうをしていなかあったのに、ほんばんの時になったらとてもほんばんの時になったらとてもきんちょうをしました。

ぼくはおわってからかいとれんとぼくとともきとれんとかいとともきの友達とごはんを食べたり、ゲームをしたりしてとても楽しかったです。そして5時になったらみんなとバイバイしてパーティせとで家族のみんなとまちあわせをしてみんあとそのあと花火をさいごまでみてからかえりました。

ことしのせともの祭は去年よりもとても楽しかったです。らいねんはパレードがおわったらちがう友達といきたいです。



◇ 「瀬戸物祭り」

瀬戸第1団カブ隊
しか ^{かなやま} 金山 ^{かい} 夏惟

ぼくは、ボーイスカウトのカブ隊2組にはいっています。瀬戸物祭りのミス瀬戸物パレードにボーイスカウトとしてでました。ボーイスカウト1だんとボーイスカウト6だんが鼓笛にでていました。ぼくは1だんです。1だんは、「テツワンアトム」の曲で、6だんは、「ヤングマン」と言うきょくでした。ぼく

は、「テツワンアトム」の曲のシンバルをしました。

ほかに、しきしゃは、みさきちゃん、大こは、ゆうすけ、シンバルは、ぼく、ベルリラは、ともき、ひなちゃん、りこ、ゆずきくん、と小だいこは、れん、りくと、ひでのりくん、ひろと、りょうがこの15人でえんそうしました。

足がとてもつかれました。

そのあと友だちといっしょに瀬戸物祭りをまわりましたがぜんぶまわれませんでした。とてもひろいので3時間まわっていましたがまわれませんでした。かえりは、電車で花火を見ながらみんなでかえりました。ぜひ瀬戸物祭にきてください。



◇ 「ボーイスカウトのこてきたい」

瀬戸第1団カブ隊

しか まつばら れん
松原 蓮

ぼくは、瀬戸物祭りで、こてき隊として参加しました。ぼくは、小だいこをしました。小だいこは去年もやっていたので、去年より自身がありましたが、覚えていない所もあったので、今年もたくさん練習をしました。すると間ちがえていたところも出来る様になり、もっと楽しくなりました。

本番は、たくさん人がいて、とてもきん張しました。行きは練習通りに出来ましたが、とても重くてと中から肩や足がとても痛くなり、上手くたたく事が出来ませんでした。すごくつかれたけど、楽しかったし、うれしかったです。

ぼくは、今組長なので、みんなをひっぱっていけるようにがんばりたかったけれど、まだ1年目で、どうやったらひっぱっていけるかがわからない部分も多かったので、これからもっとがんばっていきたいと思いました。そして来年は、もっと音を合わせられるように出来たらいいなと思いました。



◇ 「えがおをくばったせとのパレード」

瀬戸第1団カブ隊

しか さとう りこ
佐藤 璃子

わたしは、今回で二回めのパレードでしたが、予想外なことがおきました。それは、天気予ほうをテレビや新聞で見ると雨マークだったことです。少しその日はあきらめかけていましたが、晴れてほしいという願いがかないぶじ、パレード行うことができました。

そして、何回か曲をえんそうして、次始めようと思ったら、お祭りの声や音でしき者のふえがきこえなくなってしまう、どこからひけばいいかわからなくなって、えんそうがとまってしまいました。このままでは、だめだと思い、どこからでもいいからひこうと思って、わたしは、間奏の部分から一人でえん奏しました。そしたらみんなもついてきてくれて、またえん奏が始まりあんしんしました。

そうしてやっと休けいにはいり、重いベルリラをおろしたらとってもかたがいたくなり、ここまでみんなよくがんばったな、と思いました。

最後まで、みんなで頑張ったので、とっても達成感がありました。

次の日朝はやくゴミひろいをしました。活動をおえたら、空に大きなにじがかかっていました。きっとパレードとゴミひろいをがんばったから空からおくりものだと思います。



◇ 「こてきをやって・・・」

瀬戸第1団カブ隊
しか ながなわ 長縄 ともき 朋樹

ぼくは、こてきでベルリラを選びました。なぜかと言うとやりたい人の人数が少なくじゃんけんをやらずにすみそうだったからです。初めてベルリラを持ってみると重かったです。次に選んでから夜の練習をしました。何回もやるので最初は、めんどくさいと思っていました。だけど練習をつみかさねて上手になっていったら楽しくなってきました。上手くなっていったのでみんなの音色が美しくなったのですごくうれしかったです。

せと物祭の本番は、思ったよりも、人が多くてきんちょうしました。リーダーに一時間ぐらい歩くと言われたけど、自分では、30分にも感じなかったです。えんそうしている間は、多くの人に注目されているのがわかりました。

本番では、上手くえんそうできて、なあ学練習をしたから、達成感がありました。こてきが終わったしゅん間あせがだくだくでました。本番の間は、集中していたので、あせをかきませんでした。こてきが終わった後で、友だちと、祭めぐりをして、もっと楽しくなりました。

この、こてきの経験を通して、歌は、好きだったけど、楽器には、きょう味がなかった

のに、今回こてきをやってちょっと楽器のえんそうが好きになりました。

◇ 「せともの祭」

瀬戸第1団カブ隊
しか まつばら 松原 ゆうすけ 勇介

ぼくは、九月八日にせともの祭でパレードをしました。ぼくは初めてパレードをしたのですごくドキドキしました。土曜日と日曜日が雨のようだったのでできないかと思っていただけなんと土曜日に晴れました。ぼくは大だいこだったので練習がむずかしかったので晴れてよかったです。パレードをやる前の練習のときにすずしかったのでよかったです。やっているとえらいけど楽しくてなんかへんなかんじでした。さいしょはよかったのですが、半分いったところであつくてつかれてふらふらしたけどさいごには、うまくいったので結果大成功でした。はじめてだったけど大だいこでたのしくうまくいったのでお母さんやいここにほめられました。またらいねんもパレードをしたいです。そしてらいねんもせいこうさせたいです。次はシンバルをつかってパレードを試みたいです。つかれたけどとても楽しかったです。

◇ 「第5回韓国国際パトロールジャンボリー派遣」

日進第1団 カブ隊副長
星野 輝

7/31 から 8/6 まで IST としてこのジャンボリーに参加してきました。前回に引き続き参加しましたが今回は前回にも増して貴重な経験をすることができました。担当したブースでは様々な母国語が異なる人の集まりでした。ふだんなら出会えることのない人たちと時間を過ごせたことはとても刺激的でした。

今回ジャンボリーを指導者目線で見えてみてスカウト主体の雰囲気を感じ、スカウトの楽しむ姿が見られたので見習って普段の活動に活かしたいと思いました。



◇ 「ハプニング続きの夏季野営」

日進第1団 BS 隊副長
阪野 泰生

今期の夏季野営では、アウトドアベース犬山にて実施しました。1日目はあいにくの雨でしたが、設営を無事終え、ピザ作りを行いました。段ボールとアルミホイルを使用した手作り窯を準備、具材も乗せ終え、さあ焼くぞ！しかし炭に上手く火をつける事が出来ず、結局シングルバーナーで混ぜながら直接加熱をして調理。結果、グラタンもどきの様な物が出来上がっていました。それでもスカウト達は美味しそうに食べていました。

初めて経験するスカウトも多く、少し苦戦しながらも上手く作ることが出来ました。

夕食は、手作りしたウインナーを使用したポトフと水戻しパスタでの夕食でした。

しかしここでまたハプニングが発生。シングルバーナーでの調理でしたが、ふとした拍子に鍋が倒れ中身がどぼー・・・・・・・・

こぼれ出したのが幸いテーブルの上だった為、具材を洗って再調理して食べていました。

シングルバーナーが転倒し易い事を身をもって経験出来たので、ある意味良かったのかなとも思います。

この様に、ハプニング続きの夏季野営でしたが、無事に終わることが出来、スカウトの成長にも繋がったと感じました。



2日目には午前中にハイキングを実施し、午後から手作りウインナーに挑戦。下味をつけた肉を氷と一緒にこねて、専用の機械で羊の腸へ詰めていきます。

春日井第2団 桜🌸母の会&親父の会

6月3日(日)梅雨入り前、青空のイベント日和の中、爽やかな川風に涼をもらい犬山野外活動センターで「春2まつり 2018」を開催しました。保護者との交流会を第一目的にそしてビーバー隊からローバー隊のスカウトの成長ぶりを確かめたく、総勢94名の仲間が集まりました。

各隊保護者企画・実施の屋台風バイキングで昼食を、ローバースカウトによる楽しいゲーム、そして桜🌸母の会・親父の会企画の懇談会。短い時間でしたが有意義なひと時を過ごしました。

保護者が楽しそうに語り仕事をする姿をスカウトに見てもらい、スカウトが家庭では見せない一面を保護者に見て欲しいと願い、そして懇談会では保護者からご意見、ご要望をいただきましたので、今後団・隊活動に活かして行きます。

多くの方のご尽力で開催出来た事に感謝するとともに、元気団を確信できた一日でした。



【編集者より】

今回は各団の皆様よりたくさんの投稿いただきありがとうございました。
すべての記事を記載させていただきました。
次号は、2月末原稿締め切り、3月発行予定です。たのしい記事をお待ちしています。
尚、投稿は常時受け付けています。
以下 地区の直近の行事を紹介しておきます。
皆様の参加をお待ちしています。

11/10～11 VS 技能章(救急) レディヤン春日井

11/23～25 団委員研修所 新東工業研修センター
団委員実修所 新城吉川野営場

12/1 地区ボーリング大会 春日井グランドボール

12/2 隊指導者研修会(CS2018) 3地区合同

12/22～23 パイオニアリング章講習会 犬山野外活動センター

1/12 県連ボーリング大会

1/13 VS 技能章(茶道) 江南市老人福祉センター

2/16～17 指導者対象野営法(パイオニアリング)研修会

3/10 ボーイスカウト講習会 スカイワードあさひ

3/16～17 地区アフターフォーラム

3/28～31 県連盟ハイアドベンチャープログラム「トレイルキャンプ」

4/7 指導者対象スカウトスキル研修会

7/22～8/2 第24回世界スカウトジャンボリー アメリカ